

2024年04月 現在

Arcserve Backup 19 for Windows Enterprise Module

本商品は、Arcserve Backup 19 for Windowsのオプション商品です。

本商品を利用することで、3ストリーム以上のディスクステージング(D2D2T)や物理ディスク/ボリューム単位でのバックアップ等、Arcserve Backup 19 for Windowsの機能を拡張できます。

本商品は、Arcserve Backup 18.0 for Windows Enterprise Moduleの後継商品です。

- ・ サーバ

PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- ・ サーバ

Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit)

1. ディスクステージング機能

ファイルシステムデバイス（FSD）に一時的にデータをバックアップし、その後、テープにデータを移行（コピー）することで、DATのような低速なバックアップへのバックアップに比べ、バックアップウィンドウを軽減します（すべての環境において軽減されるとは限りません。）。

なお、本商品を使用することにより、3ストリーム（注）から32ストリームまで同時処理が可能となります。同時に処理する量を増やすことでファイルシステムデバイスへのバックアップの時間をなるべく短縮したい場合には、本製品を購入ください。（ただしディスクへの負荷はかかります）

注：Arcserveでバックアップするセッションの数。本商品の有無によって以下のようにバックアップ時の動作に違いがあります。なお、ファイルシステムデバイスおよびテープにバックアップされるデータに違いはありません。

Arcserve本体のディスクステージングと本商品を使用したディスクステージングの違い

〔例〕4つのドライブ（C：D：E：F：）のローカルバックアップ

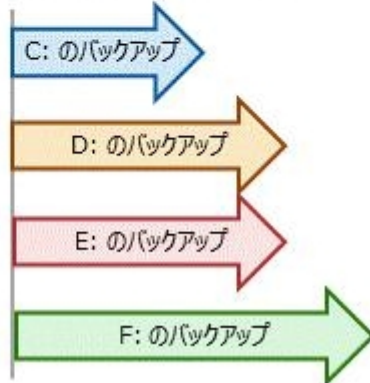
〔Arcserve本体のみ〕

2つのセッション（この場合はドライブ）を同時にバックアップし、順次残りのセッションをバックアップします。



〔本商品をインストールした場合（最大ストリーム数を4以上に設定）〕

4つのセッションを同時にバックアップします。



2. ETERNUSストレージの筐体内コピー機能と組み合わせたバックアップ/リストア

ファイル システムの種類にかかわらず、物理ディスクおよび物理ボリュームをバックアップおよびリストアできます。

この機能とETERNUS AB/HB/AX/HX/DX/AFシリーズの筐体内コピー機能とを組み合わせることにより、筐体内コピーされた様々なボリュームのデータをバックアップすることが可能となります。

なお、本機能を仮想マシン上で利用することはできません。

3. Image Option機能

ファイル単位で処理するかわりにハードディスクのブロックレベルでデータのイメージを作成し、高速バックアップとファイルレベルでのリストアを実行します。

ファイルサイズの小さなユーザデータが多数存在するドライブをバックアップする場合に最適です。

4. マルチストリーミング機能

複数のバックアップ装置を接続した環境において、各ドライブ（セッション）のデータが、それぞれのバックアップ装置のメディアに分散してバックアップされます。

これによりバックアップ時間の短縮を図ることが可能となります。

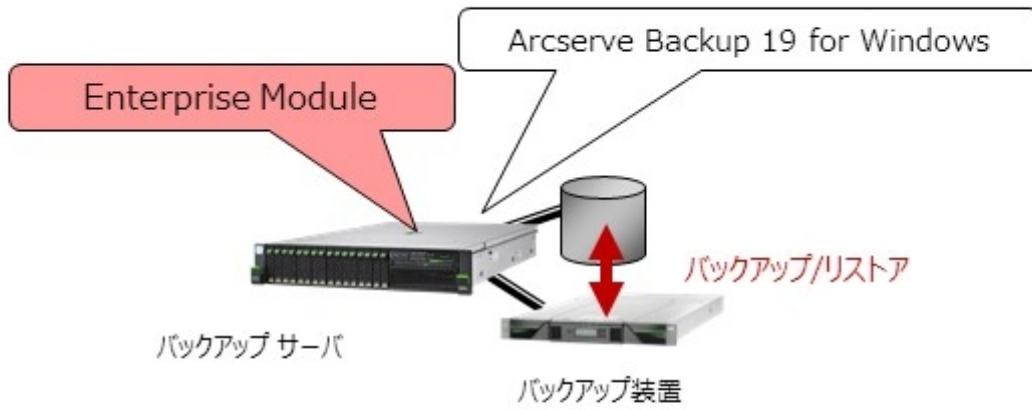
5. メディア管理の拡張

メディア管理マネージャにより、メディアの外部保管運用が円滑に行えます。

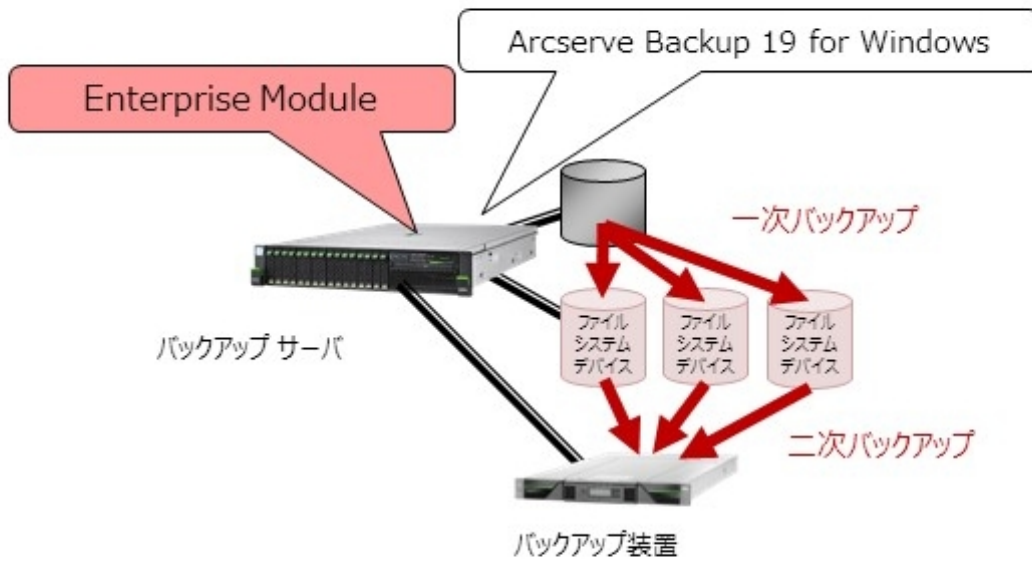
本機能を使用するためには以下の商品を購入してください。

- Arcserve Backup 19 for Windows Central Management Option

なお、本機能を仮想マシン上で利用することはできません。



ディスクスレージング機能の場合：



新規機能

18.0 から 19の機能強化項目は、以下のとおりです。

1. Arcserve Backup 19 for Windows 対応

Arcserve Backup 19 for Windows に対応しました。

2. Windows Server 2022 対応

Windows Server 2022 に対応しました。

標準添付品

- ・ オンラインマニュアル

- ・ Arcserve Backup for Windows Enterprise Module ユーザ ガイド (PDF)

サポートバンドル商品

メディアとライセンスの他、アップグレード権（5年間）とSupportDesk（5年間）がついております。

- ・ Arcserve Backup 19 for Windows Enterprise Module (5年間サポート付)

サポート非バンドル商品

メディアとライセンスの他、アップグレード権（1年間）がついております。

富士通のサポートが必要な場合は、別途SupportDeskをご契約ください。

- ・ Arcserve Backup 19 for Windows Enterprise Module

1. サポートバンドル商品について

本商品には、5年間のSupportDeskをご利用いただく権利がバンドルされた「サポートバンドル商品」がございます。サポート期間は、富士通倉庫出荷日の5年後の同日を含む月末日となります。

富士通のサポートを必要とする場合は、本商品を購入ください。

(1) サポートの種類について

・Arcserve Backupのサポートバンドル商品には、「平日サポート」、「24時間サポート」の2種類があります。

詳細は「留意事項」 - 「サポートバンドル商品の内容について」を参照ください。

・商品購入後に「平日サポート」から「24時間サポート」商品への変更、もしくは、「24時間サポート」から

「平日サポート」商品への変更は行えません。ご注意ください。購入間違いの場合は、買い直していただく必要があります。

(2) サポートの契約について

・本商品にバンドルされている「SupportDesk Standard」のサポート期間満了時に、サポートを継続するには、別途、SupportDesk契約の更新が必要です。バンドルサポート終了後のサポートを手配いただくようお願いいたします。

バンドル期間以降は月額サポートを必ず切れ間なく契約する必要があります。サポート開始日は、バンドル期間終了日の翌日に設定してください。

2. 本体商品の購入方法

本商品は、導入するサーバ毎に1本、購入してください。

3. インストールプログラムについて

本商品は、ライセンスキーのみ提供されます。

インストールプログラムは、Arcserve Backup 19 for Windows製品のDVDを使用してください

なし

1. バックアップ装置

Arcserve Backup 19 for Windowsに準じます。

1. Windows サーバOS (64-bit)上での動作

本商品は、以下のOSのWOW64(注)サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows Server 2016(64-bit)
- Windows Server 2019(64-bit)
- Windows Server 2022(64-bit)

注：Windows 32-bit On Windows 64-bit

また、Image Option機能は、上記のOS上で64ビットアプリケーションとして動作します。

2. 動作要件について

本商品の動作要件は、「関連URL」に記載の「FUJITSU Software (Arcserve Backup)」から、「動作環境」を参照ください。

3. アップグレード権について

本商品には、アップグレード権が含まれています（納品日より1年間または5年間有効）。

アップグレード権の有効期間中に新バージョンがリリースされた場合、最新のソフトウェアを入手頂くことができます。

なお、本商品のアップグレード権証書は、紛失されても再発行できませんので、大切に保管してください。

4. 本商品と最新のパッチモジュールについて

本商品は、Arcserve社ではArcserve Backup 19.0商品にあたります。

本商品を使用する際、「関連URL」の「Arcserve社（技術情報）」のWebサイト内の「Arcserve Backup Patch Index」より、最新のパッチモジュールをダウンロードし、本商品をインストール後に適用することを推奨します。

5. インストールについて

本商品は、ライセンスキーのみ提供されます。インストールプログラムは、Arcserve Backup 19 for Windows製品のDVDを使用してください。

また、インストールにはDVD-ROMユニットが必要です。本商品とPRIMERGYを同時手配する場合には、DVD-ROMユニット搭載の有無をご確認の上、必要に応じて手配してください。

なお、既にお持ちのPRIMERGYにDVDで提供される機能のインストールを行う場合には、Windowsのファイル共有を利用したネットワークインストールが可能です。（ただし、ローカルのDVD-ROMユニットと比べて作業時間を要します。）

6. 最新の注意/制限事項について

本商品における最新の注意/制限事項については、「関連URL」の「Arcserve 社（技術情報）」のWebサイトを参照ください。

7. ライセンス登録について

本商品に同梱されている「アップグレード権証書」には、商品のライセンス登録に必要な情報が記載されています。ライセンス登録の詳細は、「関連URL」の「Arcserve 社（ライセンスキー登録）」のWebサイトで掲載されている、ライセンスキーの登録に関するドキュメントを参照ください。

また、これらの情報およびパッケージは、紛失されても再発行できませんので、大切に保管してください。

8. Image Option機能の留意事項

(1) クラスタサービスについて

クラスタサービスがインストールされた環境では動作しません。

(2) 運用時の留意事項

- ・本商品でシステムドライブのバックアップ・リストアは行わないでください。
- ・データベースファイルや、他のファイルと整合性をとる必要のあるファイルが存在する環境では、本機能を使用しないでください。
- ・Image Option機能によるバックアップは、複数のドライブに対して、同時に行えません。

(3) 推奨使用条件について

本機能は、データベースのようなファイルサイズの大きなファイルのある環境では、高速にバックアップできません。サイズの小さなファイルが多数存在する環境で、本商品を使用することを推奨します。

また、OSレベルでファイルの整合性がとれている必要があります。定期的にOS側のchkdskコマンドを実施してください。

(4) Windows Server 2016以降の環境での留意事項

以下の動作はサポートしません。

- ・ReFS ファイルシステムのバックアップから ファイル単位でリストア
- ・記憶域スペースを持つマシンのバックアップ/リストア
- ・4KBセクタ ディスクで構成されたボリュームのイメージ バックアップから、512バイト セクタ ディスクへのリストア
- ・System Volume Informationフォルダが暗号化/圧縮されている場合、NTFS重複除去ボリュームのバックアップからファイル単位でリストア

9. ディスクステージング機能の留意事項

(1) NTFSボリュームについて

本機能を使用するには、最低1つのNTFSボリュームを作成しておく必要があります。

10. rawパーティションのバックアップ/リストア機能の留意事項

ETERNUS VS series のFlash Backup機能で作られたボリュームに対する、rawパーティションバックアップは、サポートしません。

11. VMware, Hyper-V, Linux仮想マシン機能(KVM) 仮想環境上へのAgent導入について

(1) 仮想環境上へのAgent導入は、以下の全ての条件に合致する環境に限りサポートします。

- 富士通がゲストOSとしてサポートする OS
- Arcserve社が物理環境上でAgentをサポートするOS/アプリケーション

なお、サポート範囲は物理環境上のサポートと同等とし、ゲストOS上で問題が発生した際、物理環境の再現を求める場合があります。

また、ゲストOS上でのみ発生する動作や性能低下は保証いたしません。

(2) VMwareが提供する機能に関する留意事項は、以下の通りです。

- VMware vSphere vMotionにおける切り替え中の動作は、サポートしません。
- VMware vSphere High Availabilityにおける切り替え中の動作は、サポートしません。
- VMware vCenter Site Recovery Managerで本商品を使用する場合は、保護サイトと復旧サイトのそれぞれに本商品を導入してください。

(3) Hyper-Vが提供する機能に関する留意事項は、以下の通りです。

- ライブマイグレーションにおける切り替え中の動作は、サポートしません。
- クイックマイグレーションにおける切り替え中の動作は、サポートしません。
- フェールオーバーにおける切り替え中の動作は、サポートしません。

(4) KVMが提供する機能に関する留意事項は、以下の通りです。

- ライブマイグレーションにおける切り替え中の動作は、サポートしません。

12. FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 / FJcloud-V / for Microsoft Azure / for AWS の仮想マシン上への導入について

仮想環境上への導入は、以下の全ての条件に合致する環境に限りサポートします。

- 仮想マシンのOSが、Arcserve Backupの物理環境でサポートしているOS

なお、サポート範囲は物理環境上のサポートと同等とし、ゲストOS上で問題が発生した際、物理環境の再現を求める場合があります。

また、ゲストOS上でのみ発生する動作や性能低下は保証いたしません。

13. マルチベンダーサーバおよびパブリッククラウドのサポートについて

本商品では、富士通SupportDeskで他社機での動作をサポートいたします。

なお、サポートには条件があります。

サポート条件の詳細は、「関連URL」の「FUJITSU Software (Arcserve Backup)」内の「サービス&サポート」を参照してください。

14. Microsoft Azure Stack Hub 環境の仮想マシン上への導入について

Microsoft Azure Stack Hub 環境の仮想マシン上への導入は、サポートしません。

15. サポートバンドル商品の内容について

(1) サポートの内容

サポートバンドル商品には、富士通が提供するSupportDeskサービスである「平日サポート」「24時間サポート」の2種類があります。サービス時間帯は以下の通りです。

- ・ 平日サポート：月曜日～金曜日 8:30～19:00(祝日および12月30日～1月3日までは除く)
- ・ 24時間サポート：24時間365日

(2) サポートサービスの期間

Arcserve商品に関するサポート期間は、Arcserve社に準じたサポート期間となります。このため、本商品のサポートサービス期間中にArcserve社がサポート終了した場合は、アップグレード権を行使し最新バージョンへアップグレード頂くご対応をお願いする場合があります。

なお、Arcserve社のサポート終了日から1年間は、富士通独自のサポートサービスとして、富士通内部のナレッジに基づく既存事例の検索による既存修正の提供、または回避策の提示による問題解決支援を行います。

16. 旧バージョン(18.0)との違い

本商品より、以下の環境での動作には対応していません。

- ・ Windows Server 2012(64-bit)
- ・ Windows Server 2012R2(64-bit)
- ・ Windows Server 2008
- ・ Windows Server 2008(64-bit)
- ・ Windows Server 2008R2(64-bit)

お客様向けURL

- **FUJITSU Software (Arcserve Backup)**
本商品の詳細情報を記載しています。
<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/arcserve/products/backup/>
- **Arcserve社 (製品情報)**
本商品の詳細情報を記載しています。
<https://www.arcserve.com/jp/arcserve-tape-backup-software>
- **Arcserve社 (技術情報)**
本商品の技術情報および、最新の注意/制限事項を記載しています。
<https://support.arcserve.com/s/topic/0T01J00000013phWAC/arcserve-backup?language=ja>
- **Arcserve社 (ライセンスキー登録)**
Arcserve商品のライセンスキーの登録について記載しています。
<https://www.arcserve.com/jp/jp-resources/licensing/>